



平成 28 年 12 月 27 日

各 位

会社名 株式会社アサツー ディ・ケイ
代表者名 代表取締役社長 植野 伸一
(東証第一部 コード番号：9747)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 中島 香
Tel 03 (6830) 3855

当社連結子会社による過年度における不適切な会計処理に関するお知らせ

この度、当社が平成 28 年 9 月に買収し当社の連結子会社となった株式会社ゴンゾ（以下、「ゴンゾ」という。）において、当該買収以前の時期に不適切な会計処理が行われていたことが判明いたしました。

つきましては、現時点で判明している事実の概要および今後の対応につきまして、下記のとおりお知らせいたしますが、本件による当社における連結財務諸表等の訂正ならびに業績への影響はございません。

記

1. 現時点で判明している事実の概要と影響について

当社によるゴンゾ買収後、当社の連結財務諸表作成過程において、ゴンゾは上場会社の連結子会社として当社の会計処理・方針等を参照の上、当社と協働してゴンゾの平成 28 年 9 月末時点の貸借対照表を作成し、精査いたしました。その結果、売上計上、棚卸資産計上、貸倒引当金計上等の会計処理について、一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠していない可能性があり、従来の会計処理方法を修正することが適切であるとの結論に至りました。なお、当該ゴンゾの修正に伴う平成 28 年 9 月末時点のゴンゾの債務超過額は、1,025 百万円増加し 1,280 百万円から 2,305 百万円となりますが、平成 28 年 9 月末時点の当社連結貸借対照表に反映済みです。

当社およびゴンゾは、ゴンゾの過年度の決算における不適切な会計処理につき、専門的および客観的な見地から事実関係を調査分析するとともに、当該分析を踏まえた再発防止策の提言を得るため、平成 28 年 11 月 10 日付で特別調査委員会を設置し調査を進めており、ゴンゾの過年度の連結財務諸表等についても会計処理を検証した結果、ゴンゾは、過年度（平成 24 年 3 月期から平成 28 年 3 月期まで）の決算における会計処理及び会計上の判断についても修正が必要となるとの結論に至り、本日、ゴンゾの過年度の有価証券報告書及び半期報告書について訂正報告書の提出を決定しました。

なお、本件によるゴンゾへの過年度の損益影響額は精査中ではありますが、訂正が必要となる過年度財務諸表は当社によるゴンゾ子会社化以前の事象であること、また、ゴンゾ連結開始時である当社の平成 28 年 12 月期第 3 四半期の連結財務諸表作成時においては、上記修正による

影響を平成 28 年 9 月末時点の当社連結貸借対照表に反映していることから、当社における連結財務諸表等の訂正ならびに業績への影響はございません。

2. 今後の対応について

当社およびゴンゾは、これらの事実関係の詳細ならびに発生原因を究明すべく、当社およびゴンゾとは利害関係のない中立・公正な外部の専門家から構成される特別調査委員会を設置し、現在精査を進めております。今後ゴンゾにおける損益影響額および再発防止策が確定次第、速やかに調査結果をご報告いたします。

なお、特別調査委員会による調査結果は平成 29 年 1 月上旬に報告される予定であり、ゴンゾは特別調査委員会による調査結果の報告を受けた後、速やかに訂正項目を検討・決定の上、平成 29 年 1 月末を目途に過年度の有価証券報告書等の訂正報告書および第 18 期半期報告書を提出する予定です。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑ならびにご心配をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

(注) 上記のほか、当社のゴンゾ買収に関する詳細は、平成 28 年 7 月 14 日付の「株式会社ゴンゾ株式に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」、同年 8 月 23 日付の「株式会社ゴンゾ株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」ならびに、同月 25 日付の「(訂正) 株式会社ゴンゾ株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」にて開示しておりますが、当該開示済の公開買付けに関する対応等については、今後検討し決定し次第速やかに開示いたします。

以 上